

第一回地域連携推進会議

議事録

令和7年1月24日

参加者：後藤三郎氏　社会福祉法人同朋会保護者会会长
増田真由美氏　一般社団法人若者サポート nanairo 代表理事（途中参加）
山田司氏　山県市福祉課
梅田幸子氏　ボランティアしゃくなげ代表
林真紀子氏　伊自良苑利用者代表
立石光重氏　同朋会ケアホーム利用者代表
筑摩直幸氏　桜美寮利用者代表

事業者側参加者

伊自良苑：林・蔵園・上野　同朋会ケアホーム：笠井　桜美寮：芦田・井口・宮崎・井上

※レジュメ・参考資料別紙参照

9:05 <開会（芦田）>
趣旨・日程説明（宮崎）
委嘱状受け渡し（芦田・林）

9:30 <同朋会ケアホーム4棟・桜美寮・伊自良苑見学>
事業所内を見学し委員の方々が利用者さんから話を聞き交流を行う。
職員の配置や1日の流れ、建物の構造等の説明を行った。

11:25 <各事業所からの現状説明>
同朋会ケアホーム→生活の家桜美寮→伊自良苑

11:45 <意見交換>
山田司氏：詳しく建物の中を見るのは初めてだった。施設からGHへの移行が取りくまれている。障害分野は職員の頑張りがとても重要であると思う。
増田真由美氏：利用者の方が落ち着いていた。強度行動障害の方の意思決定支援等は課題がある中で前向きに取り組んでいると感じた。
後藤三郎氏：知らない人が来るとパニックになる事がが多いが利用者の方が落ち着いて

いた。強度行動障害の方が思った以上に多くて驚いた。

梅田幸子氏：以前よりも利用者の方が生き生きして生活をしており雰囲気がとてもよかったです。

立石光重氏：いろんな方がおり沢山学ばせていただいた。

林真紀子氏：ワークスでいろいろな作業を行っています。

筑摩直幸氏：色々なところを見学できて楽しかった。また行きたい。

<質疑応答>

増田真由美氏：利用者の高齢化対策、外国人材の採用・育成について教えていただきたい。

伊自良 上野：利用者の高齢化対策については、嚥下機能の低下について多職種連携を行いながら試行錯誤している。これから法人内の介護分野の事業所等からどう学び、活かしていくかが大事。

外国人の採用・育成については、法人で導入していく当初はイメージできなかったが、法人内の他事業所でのモデルから参考にし3年前に採用開始。今年度から正規職員として雇用を始めたが勉強熱心で真面目であるため順調にいっていると思う。

桜美寮 宮崎：介護について、入浴は特浴を使用しているのは5.6人。排泄介護に関してもおむつが必要な方が何人もいらっしゃる。歩行についても不安定な方が増えている。歩行器、立位補助具、スライディングボード、おむつのサイズ等を活用・工夫しながら支援を行っている。

山田司氏：利用者、家族への地域移行の確認・法人内の利用者さんの施設移動に関して話し合いなどのように行っているか。また、職員の異動や配置転換に関しても合わせて伺いたい。

伊自良苑 林：利用者さんの中で長期利用している方に関しては、伊自良苑から桜美寮への移行を考えている。桜美寮は高齢化を見据えた施設構造になっている。職員に関しても介護技術の取得も必要なため、桜美寮への異動を行うことや、分野を超えた法人内移動も行っている。また、他事業所で夜間就労が難しくなった職員に対しても日中支援中心の事業所に異動を図る等試行錯誤を行っている。

意思確認・決定支援に関しては、ニーズを表明する方や、職員が地域移行が可能ではないかと判断した利用者さんに対し、職員から提案を行ってきたが、今後は全利用者に対して聞き取りを行う必要があるため確実に実施していく。中にはコミュニケーションが難しい方も見えるため様々な方法で意思確認を行っていく。

後藤三郎氏：利用者さんの個々の状況を見ながら判断するのがよいのではないか。

個人的には全利用者の意思確認等については反対。

伊自良苑 蔵園：以前のように地域の方と交流を持てる機会があれば施設側としてはありがたいですし、今回の会議はそのとっかかりになればと思う。

後藤三郎氏：利用者さんが参加してくれたことがとてもびっくりした

12：30 <閉会（林）>

次回：令和8年9月23日（水）予定

次回議題案

- ・防災関係について